



市民参加型モビリティ・マネジメント 「まち歩かんね、クルマ減らさんね運動」 の立ち上げと今後の展望

日本工営株式会社 山口 晋弘(★)、辻 健太郎
九州地方整備局 建政部 森 賢二
九州地方整備局 福岡国道事務所 塚原 浩司、草野 裕一
★印: 発表者



0, はじめに

運動論というテーマに照らし合わせると・・・

「まち歩かんね、クルマ減らさんね運動」(まちクル運動)とは、運動参加者(一般市民)が、「みんなで少しずつクルマを減らして公共交通を使って、もっとまちを歩こう!」という目的をもった集団行動を目指したものである。

今回は、平成27年度に立ち上げた「まちクル運動」について、紹介する。

1. 「まちクル運動」の背景
2. 「まちクル運動」の立ち上げと
「まちクル運動推進協議会」の発足
3. 「まちクル運動」の初年度の取組結果
4. 今後の展望



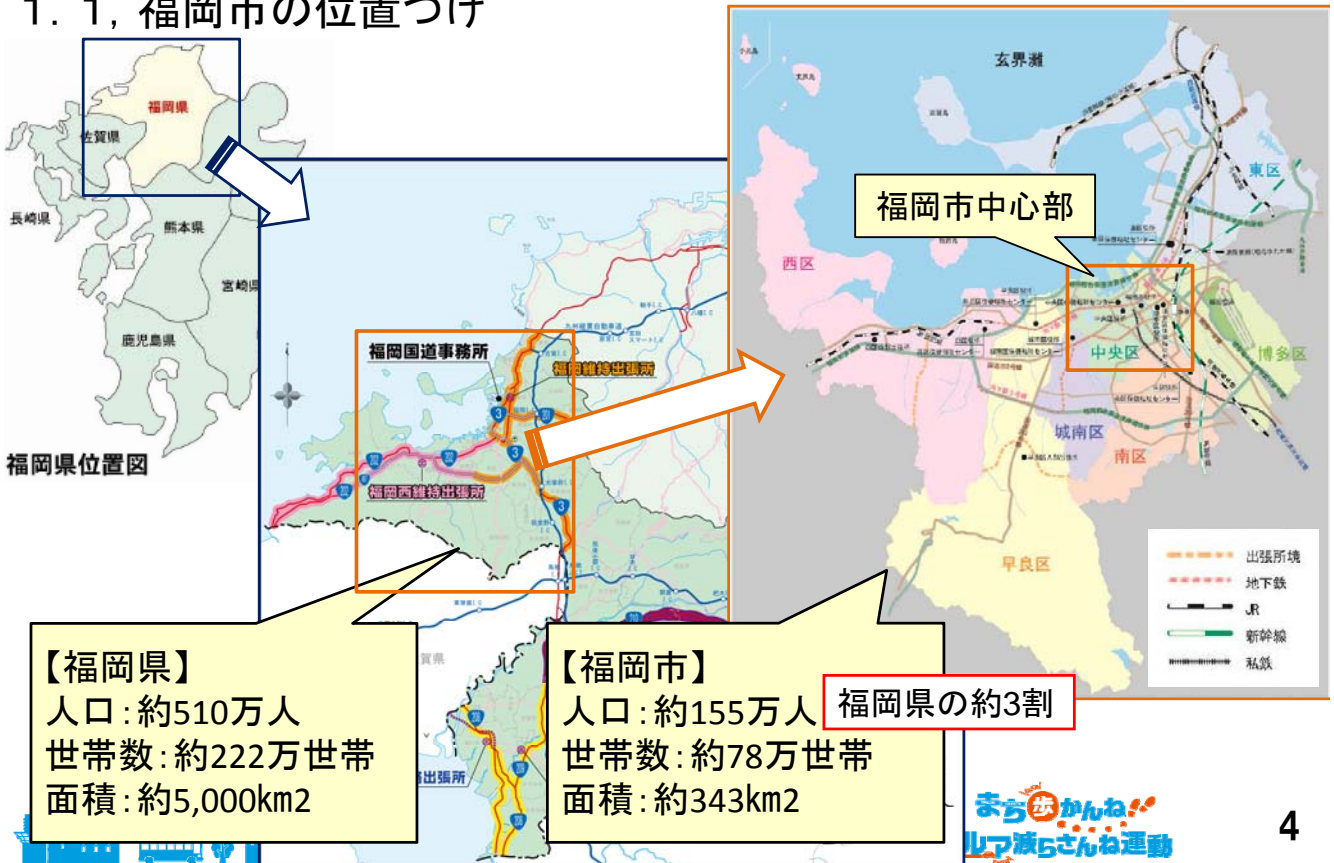


1, 「まちクル運動」の背景



1. 1, 福岡市の位置づけ

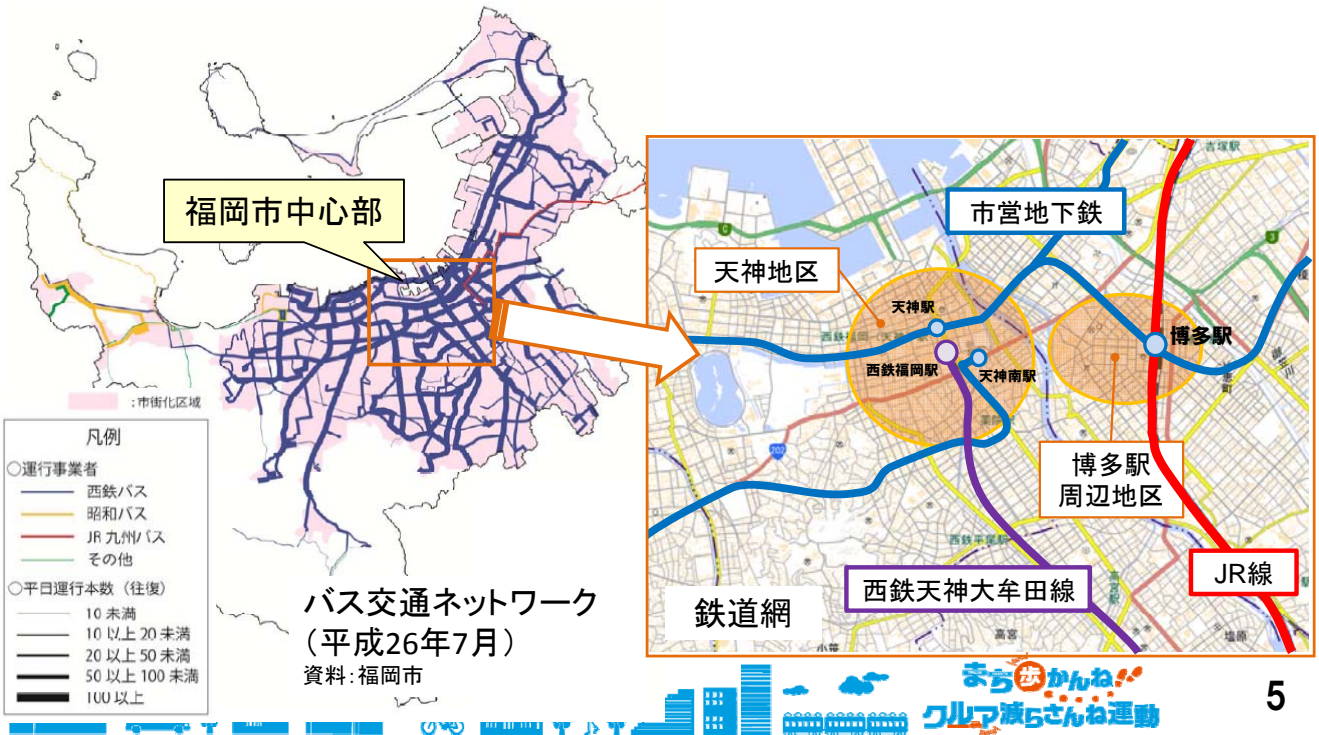
※人口・世帯数は、福岡県・福岡市における公表値(平成28年6月1日)





1. 2, 福岡市中心部における現状

福岡市中心部の公共交通の利便性が高い。



1. 2, 福岡市中心部における現状

福岡市中心部では、クルマ利用による様々な交通問題(渋滞等)の要因となっている。

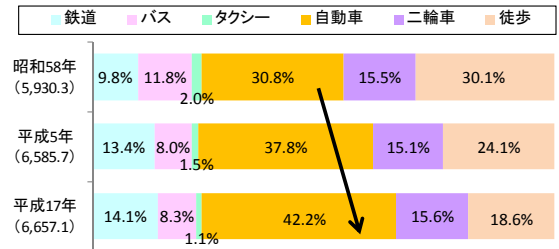


図: 市内における代表交通手段別の人の動きの推移 (引用) 第4回北部九州圏パーソントリップ調査



図: 福岡県の主要渋滞箇所 (平成25年1月)



1. 3, 福岡モビリティ・マネジメント推進連絡会 (Fuku-POMM) の発足

福岡市中心部の公共交通の利便性が高い。

福岡市中心部では、クルマ利用による様々な交通問題(渋滞等)の要因となっている。

平成16年度より福岡市中心部におけるモビリティ・マネジメントを推進

・利便性の高い公共交通の活用
→「**かしいクルマの使い方**」
(モビリティ・マネジメント)

・直轄国道のみならず周辺道路を含めた面的な対策が必要
→「**他機関との連携**」

平成21年3月

福岡モビリティ・マネジメント推進連絡会 (Fuku-POMM※) を発足

※Fuku-POMM: Fukuoka- Platform On Mobility Management

表: Fuku-POMMの構成主体(平成28年6月時点)

学識経験者	京都大学教授、東海大学教授
交通事業者	福岡市交通局(鉄道)、西日本鉄道株式会社(鉄道) 九州旅客鉄道株式会社(鉄道)
まちづくり団体	We Love 天神協議会、博多まちづくり推進協議会
行政	九州地方整備局、九州運輸局、福岡県、福岡市

7



1. 3, 福岡モビリティ・マネジメント推進連絡会 (Fuku-POMM) の発足

【Fuku-POMMの5つの施策】

- ①P & Rの利用促進
- ②公共交通乗換マップの活用・更新
- ③転入者MM
- ④都市交通マスタープランの策定・施策展開
- ⑤自動車に対するデ・マーケティングキャンペーン

【Fuku-POMMの開催】

関係機関が主体となって実施する取組に関する**情報共有・意見交換を実施**

■福岡エリア公共交通ガイド



■福岡・公共交通おでかけグッズ
(福岡市へ転入してきた方に配布)



■パーク&ライド



■啓発活動(街頭、イベント)



8



2, 「まちクル運動」の立ち上げと 「まちクル運動推進協議会」の発足



9



2. 1, 「まちクル運動」の立ち上げ

平成21年度以降	「公共交通の利用促進」を中心とした関係機関の取組の情報共有
平成24年度以降	更なる公共交通の利用促進に向け、 「公共交通の利用促進」+「中心市街地の活性化」 が一体となった方策実施に向けた意見交換
平成26年度	まちづくり団体を含めた関係機関との連携強化として、 ①一元的に情報配信する仕組みの構築 ②一般市民を含めたサポート体制の確保 を目指した新たな取組の実施を提案

有機的な1つの運動体としての機能

平成27年12月

「まち歩かんね、クルマ減らさんね運動」(まちクル運動)の立ち上げ

(試行開始)

まちクル運動の目的(社会的な意義)

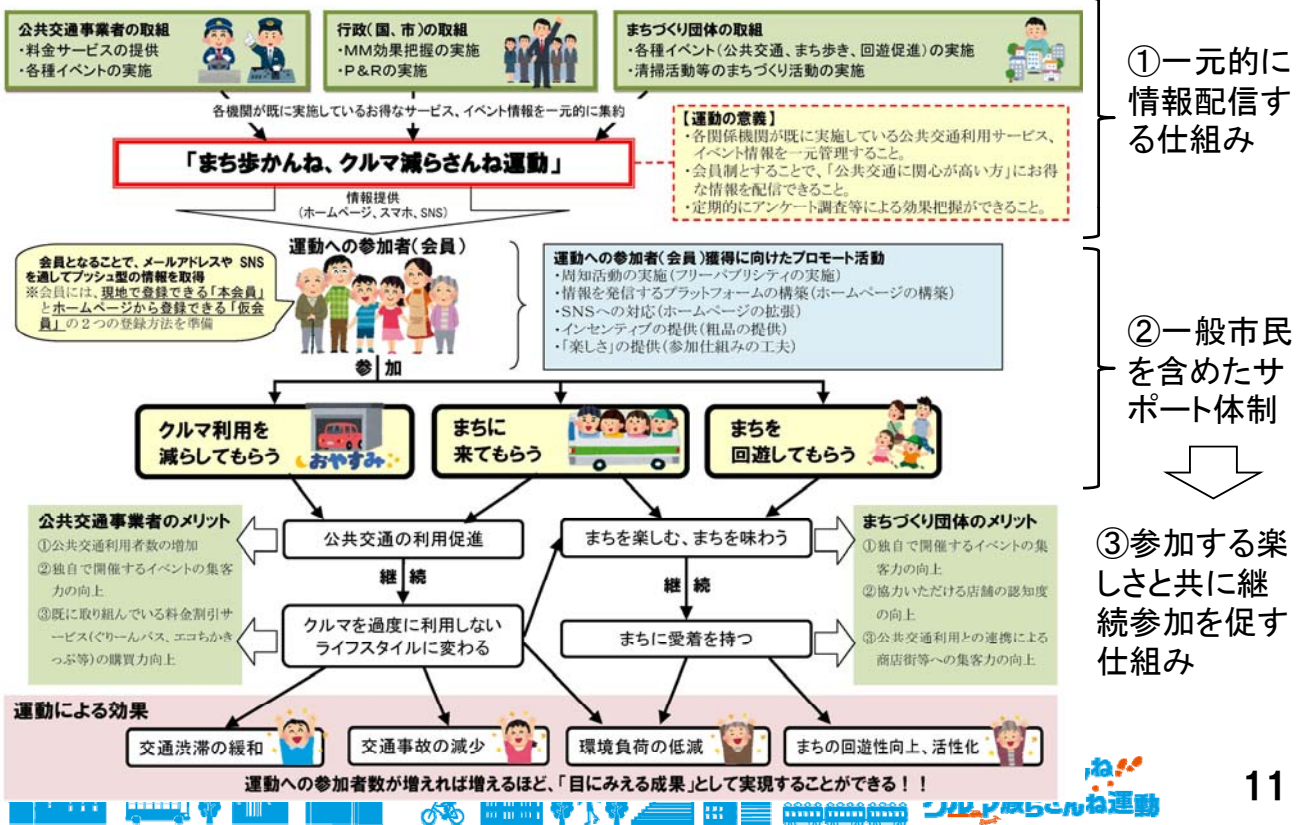
この運動は、参加者みんなで少しずつクルマを減らして公共交通を使って、もっとまちを歩こう!という運動である。みんなが少しずつ取り組めば、まちが賑わって渋滞もなくなり、環境もよくなって、みんなが健康にもなるなどの「いいこと」がたくさんある。また、運動の参加者に対し、様々な楽しみを準備・提供することで、継続参加の確保を目指す。



10



2. 2, 「まちクル運動」の仕組み



①一元的に情報配信する仕組み

②一般市民を含めたサポート体制

③参加する楽しさと共に継続参加を促す仕組み



2. 2, 「まちクル運動」の仕組み

①一元的に情報配信する仕組み

- ・「まちクル運動」のホームページより運動に係る関係機関の情報を発信
- ・SNS(ソーシャル・ネットワーキング・システム)の活用(Facebook、Twitter)





2. 2、「まちクル運動」の仕組み

①一元的に情報配信する仕組み

- ・「まちクル運動」の周知活動としてポスター、チラシを作成・配布
- ・作成・配布には、関係機関の協力を得て、フリーパブリシティ(無償の広報)により実施



ポスター

チラシ



まち歩かね!
クルマ減らさんね運動



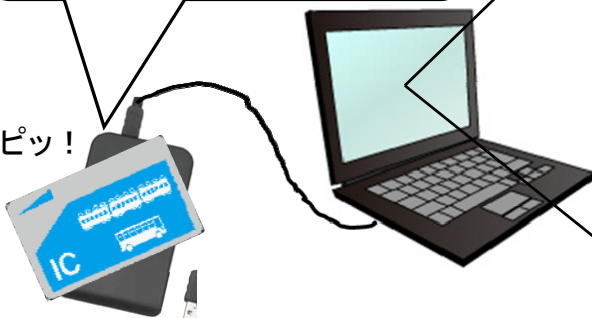
2. 2、「まちクル運動」の仕組み

②一般市民を含めたサポート体制

- ・「まちクル運動」には交通系ICカードを活用して会員登録を実施
→参加回数等を把握
- ・運動に参加することにくじ引き形式で1等～5等のノベルティを提供
→参加する楽しさと共に継続参加を促す。

初めてのの方は、別途、必要事項
(名前(ニックネーム)、メールアドレス、住所等)を記載

ピッ!



登録完了

ご入会、誠にありがとうございます。

会員IDは、[] です。

「Enter」キーを押してください。

今回の景品は、[] です。

またのご参加をお待ちしております。

閉じる

パソコン画面上でスロットが回って1等～5等が表示





2. 2, 「まちクル運動」の仕組み ③参加する楽しさと共に継続参加を促す仕組み



2. 2, 「まちクル運動」の仕組み ③参加する楽しさと共に継続参加を促す仕組み

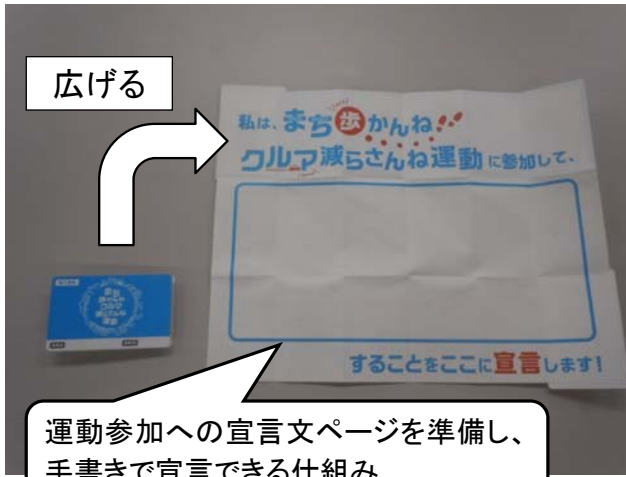
ノベルティは、**関係機関の協力によりご提供**
いただいた物品を参加者に提供





2. 2, 「まちクル運動」の仕組み ③参加する楽しさと共に継続参加を促す仕組み

- ・会員証(Zカード)では、広げて宣言文の記載が可能
- ・また、参加回数等にあわせて、会員の階級を上げる仕組み
→参加・継続の意欲を高める工夫



参加回数、アンケートへの協力回数にあわせて階級が上がる仕組み



2. 3, 「まち歩かんね、クルマ減らさんね運動推進協議会」の発足

- ・まちクル運動の実施主体として発足
- ・協議会員はFuku-POMM構成主体と同じ
- ・実施項目は以下の通り
→試行運用中の運動実施
→モニタリング結果を踏まえた効果検証
→将来の運営体制に向けた協議・調整



写真: 発足式(H28.3.14)

表: Fuku-POMMの構成主体(平成28年6月時点)

学識経験者	京都大学教授、東海大学教授
交通事業者	福岡市交通局(鉄道)、西日本鉄道株式会社(鉄道) 九州旅客鉄道株式会社(鉄道)
まちづくり団体	We Love 天神協議会、博多まちづくり推進協議会
行政	九州地方整備局、九州運輸局、福岡県、福岡市

持続可能な運動実施を進めていくための役割分担、運営体制の構築





3, 「まちクル運動」の 初年度の取組結果



3. 1, 「まちクル運動」の初年度の取組内容

- ・会員登録活動を平成27年12月の試行開始から全4回実施
- ・取組評価として、WEBアンケート、会員アンケート(2回)を実施

【会員登録活動】

1回目:12月27日(日)	2回目:1月16日(土)	3回目:2月7日(日)	4回目:3月14日(月)

【各種調査】

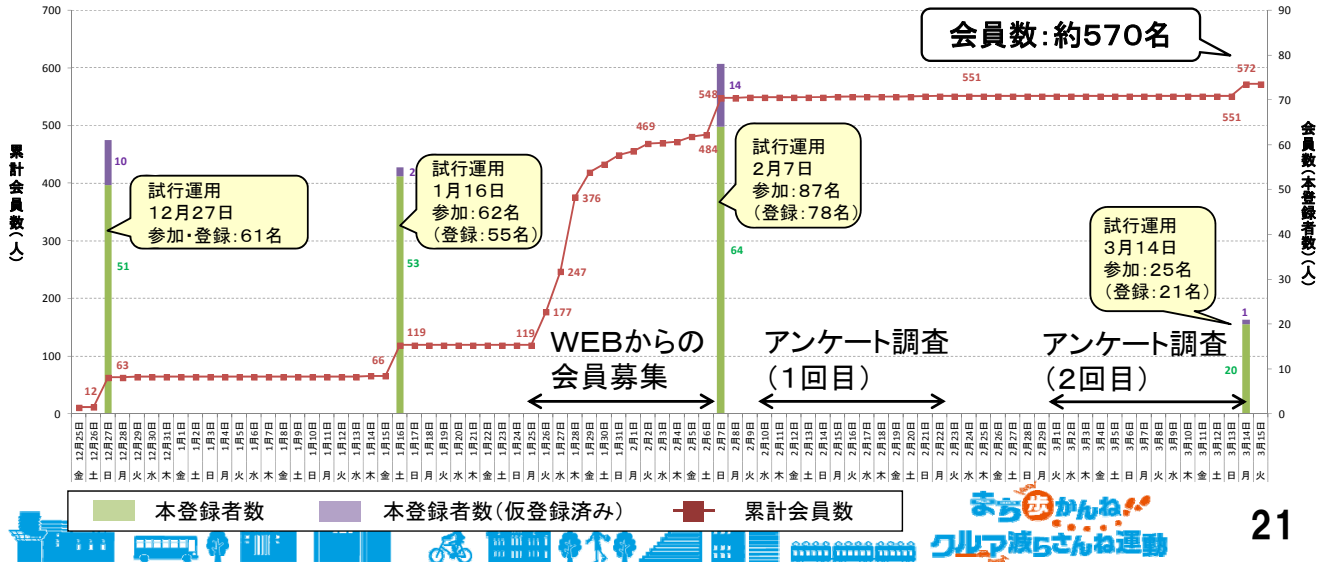
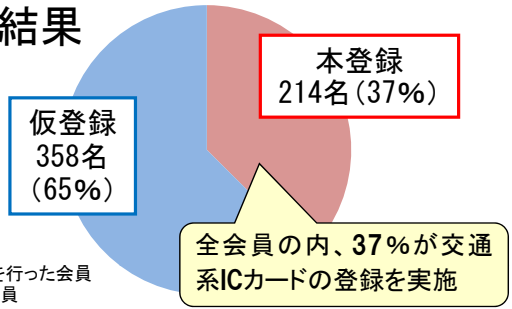
	WEBアンケート(一般住民)	会員アンケート(1回目)	会員アンケート(2回目)
概要	・会員への登録依頼 ・取組評価 ・参加意向 等	・目標設定 ・移動に対する意識調査 等	・目標達成状況 ・今後の参加意向 等
実施期間	平成28年1月26日 ～平成28年2月1日	平成28年2月10日 ～平成28年2月22日	平成28年3月1日 ～平成28年3月14日
回収数	4,928名	165名	128名



3. 2, 「まちクル運動」の初年度による取組結果

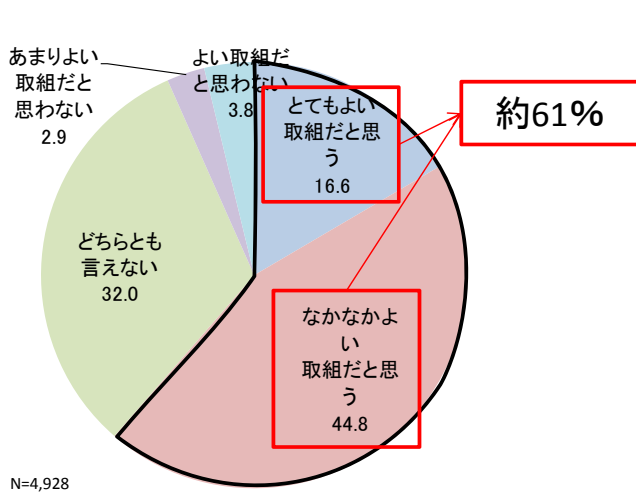
- ・平成27年12月から全4回の試行運用を実施
- ・WEBからの会員募集を含め約570名の会員を獲得

※本登録：現地にて交通系ICカードの登録を行った会員
 ※仮登録：ホームページから登録を行った会員

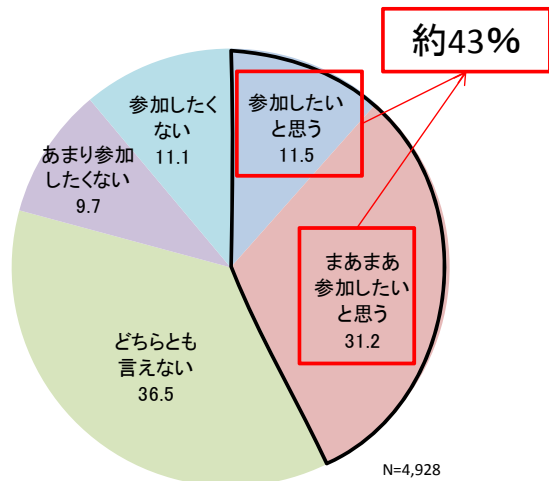


3. 2, 「まちクル運動」の初年度による取組結果 (WEBアンケート調査)

- ・福岡県内在住の方にWEBアンケート調査を実施
- ・「まちクル運動」ホームページを見てからの評価とともに会員登録依頼を実施
- ・運動に対して約6割の評価を得るとともに、約350名の会員を獲得



図：運動に対する評価



図：運動への参加意向





3. 2, 「まちクル運動」の初年度による取組結果(会員向けアンケート調査)

- ・「クルマ利用削減目標時間」において、回答者の約6割が達成
※利用削減した方の平均削減時間は、1人あたり1週間で約2時間
- ・回答者の約9割以上から継続的な参加意向を得ることができた。
- ・交通系ICカードポイントとの連動や運動に参加できる機会増加の要望があった。

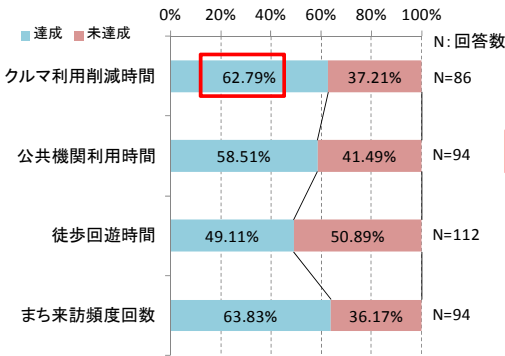
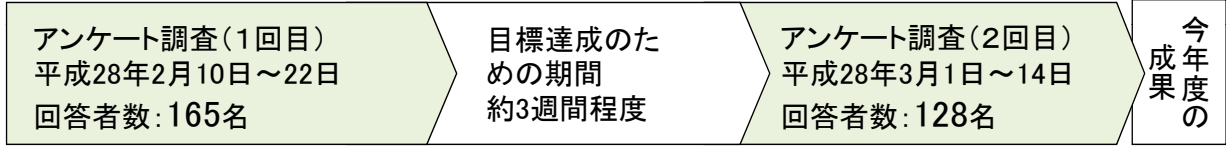


図: 目標の達成状況

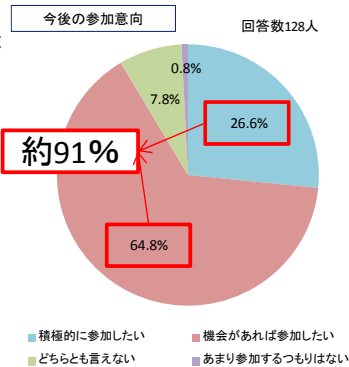


図: 今後の参加意向

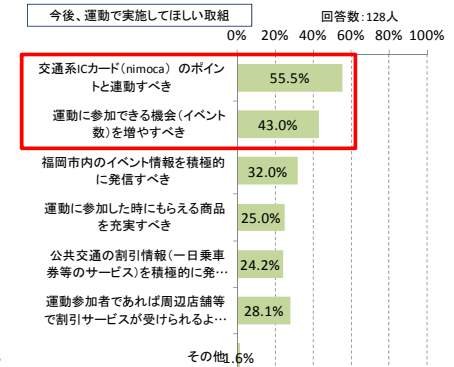


図: 運動で実施してほしいこと



3. 2, 「まちクル運動」の初年度による取組結果

初年度の結果は、ホームページを通して会員にフィードバック

今年度の取組結果のご紹介

平成28年3月17日(木)
まち歩かんね、クルマ減らさんね運動推進協議会事務局

■まち歩かんね、クルマ減らさんね運動(まちクル運動)の会員数は約570名■

この運動は、参加者みんなで少しずつクルマを減らして公共交通を使って、もっとまちを歩こう!という運動です。本運動の会員募集は、12月27日(日)を初回に、月1回の会員募集を行い、平成28年3月15日時点で、約570名の方々に会員になって頂くことができました!

今後も引き続き、運動を推進してまいりますので、皆様のご支援のほど、よろしくお願いたします。

■アンケート調査には100名以上にご協力いただきました!■

会員の皆様には、2月に1回目、3月に2回目と2回のアンケート調査にご協力いただきました。調査には各100名を越える方にご回答いただくことができました。ありがとうございます!

アンケート調査(1回目)
平成28年2月10日～22日
回答者数: 165名

目標達成のための期間
約3週間程度

アンケート調査(2回目)
平成28年3月1日～14日
回答者数: 128名

今年度の成果

■アンケート調査より、クルマ利用時間は、1人あたり1週間で、平均約112分削減!■

(図1)回答者において、会員登録時に設定した目標に対する達成状況を示しています。「クルマ利用削減時間」をみると、約63%の方が目標を達成することができていました。なお、数値で示すと、削減時間は、1人当たり1週間で、平均で約112分の削減ができておりました。

(図2)今後、運動に求めることとして、「交通系ICカードのポイントとの連動」、「運動に参加できる機会の増加」へのニーズが多くあり、協議会では、できることから実施し、皆様のニーズに応えてまいります。

図1: 目標の達成状況

図2: 運動に今後求めること

今後とも、まちクル運動をよろしくお願いたします!



4, 今後の展望



25



4, 今後の展望

【平成27年度】

- ・福岡市中心部の渋滞改善、更なる公共交通の利用促進、中心市街地の活性化等を図るべく「まち歩かんね、クルマ減らさんね運動」(まちクルマ運動)を立ち上げ、試行運用を開始した。
- ・会員登録活動により、約570名の会員を得ることができた。
- ・クルマ利用削減に貢献する等の成果が得られることを示すことができた。



【今後の展望】 集団行動として成功させるために・・・

- ・まちづくり団体、交通事業者と連携した会員登録活動の充実
- ・会員登録の拡大に向けた仕組みの改善(ノベルティの拡充等)
- ・継続的な運動実施のモニタリングによる効果の分析・検証
- ・継続的に運営できる体制構築・役割分担に向けた関係機関との協議・調整



26



メコロ

ちかまる

ご清聴ありがとうございます。

